

禁斷會集之時男女混雜事

右被大納言從三位神王宣稱奉勅男女有別禮典彝倫品類無差名教已闕如聞黎庶愚闇不識禮儀所司寬容曾無誨導公私會集男女混淆敗俗傷風莫過斯甚宜嚴禁斷勿令更然知而有違刑故無宥勝示路頭普令知見

延曆十六年七月十一日○又見類聚國史七十九

怠

怠ハ、オコタルト云ヒ、又懈怠、緩怠、怠慢、怠惰或ハ油斷トモ云ヘリ、常ニ勤勞セズシテ、事業等ヲ遲滯スルヲ謂フナリ、

名稱

〔類聚名義抄〕六怠音始 懈古隘反 慳或

〔伊呂波字類抄〕於懈オコタル 慢オコタル 怠情已上同 〔同太字〕怠慢 〔同久字〕緩怠 〔同計字〕懈怠 懈緩 懈倦 懈退 懈嬾

〔下學集〕下態クワンタイ 緩怠

〔書言字考節用集〕八言ヲコタル 怠同 懈同 怠慢タイマ 怠惰クワンタイ 〔同九言辭〕懈怠

〔倭訓栞〕前編四十五 おこたる 怠慢をいふ、起垂の義興起感發なきの意あるべし、緩もよめり、疾

の少しく愈るをも、心ちおこたるなど見えたり、

〔運歩色葉集〕遊油斷

〔書言字考節用集〕九言辭 油斷俗謂怠慢爲油 弓斷事見北

〔狂言記〕一ゑぼしお